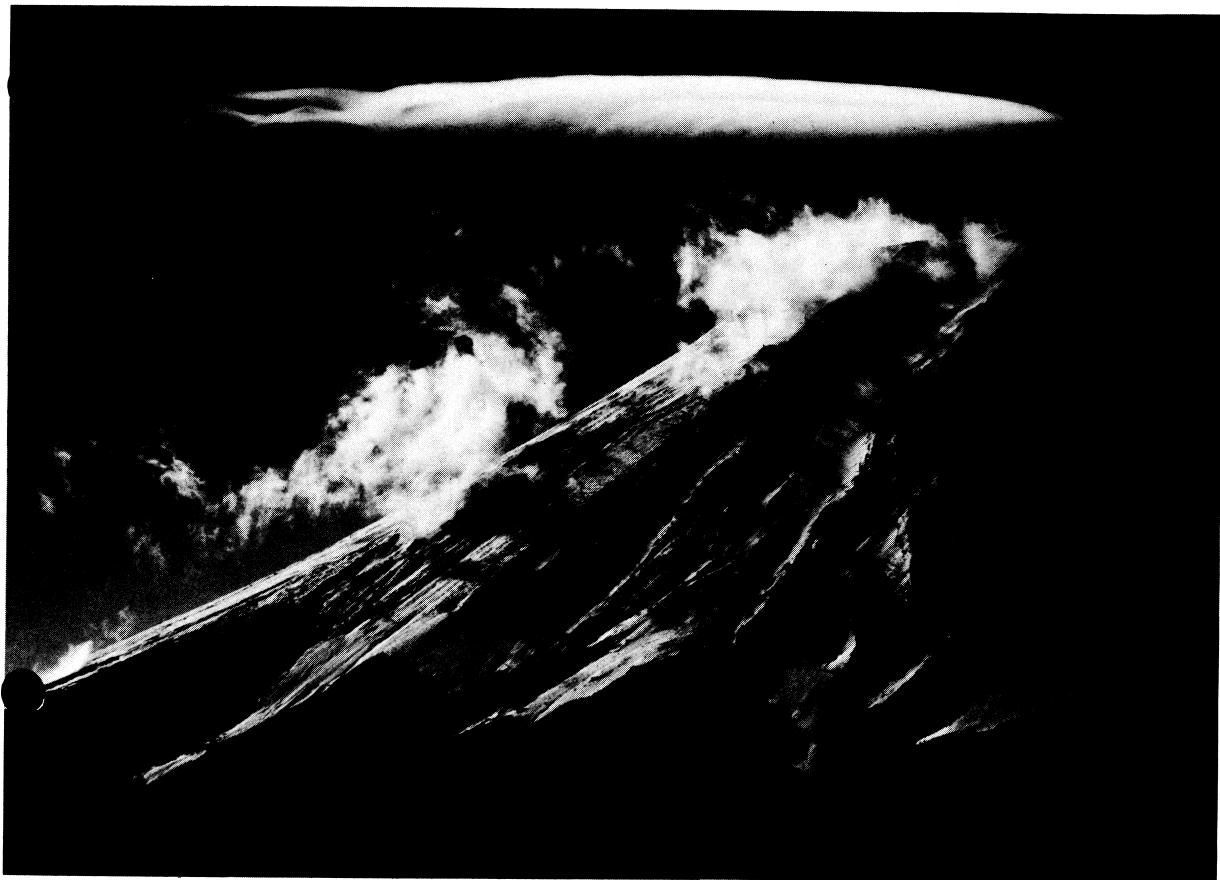


中央大学理工学部電気工学科

同窓會々誌



(撮影 大越、三ツ峠にて)

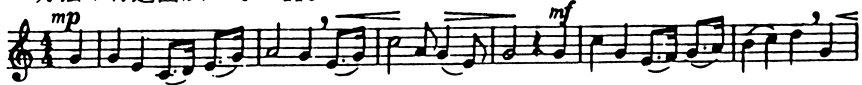
1988—10

25号

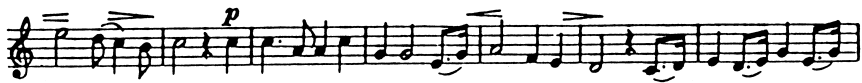
中央大学校歌

石川道雄 作詞
坂本良隆 作曲

力強く行進曲風に ♩=116



く さのみどりにかぜかおる おかにまばゆきは



くもんを したいつどえるわこうどが まことのみ



ちにはげみつつ はえあるれしをうけつたう あ



あ ちゆう おう われらがちゆうーおう ちゆうおうの なよひかりあれ

一、草のみどりに風薫る
丘に目映き白門を

慕い集える若人が

真理の道にはげみつつ

栄ある歴史を承け伝う

ああ中央、われらが中央

中央の名よ光あれ

二、よしや嵐は荒ぶとも

揺がぬ意気ぞいや昂く

春の驕奢の花ならで

みのりの秋やめざすらむ

学びの園こそ豊かなれ

ああ中央、われらが中央

中央の名よ誉あれ

三、いざ起て友よ時は今

新しき世のあさばらけ

胸に血潮の高鳴りや

湧く歌声も晴れやかに

自由の天地ぞ展けゆく

ああ中央、われらが中央

中央の名よ栄あれ

目 次

中央大学校歌	2
会長あいさつ	川喜田良行 4
年寄りの片言 副題、でも俺は年寄りぢゃない	一期生 竹中四朗 5
雑感	電気工学科主任 木下源一郎 6
実社会の初歩を体験して	八巻英明 7
入学直後の自分	小池真紀子 8
入学して思う事	平井良康 8
在校生との懇談会	31年卒業 堀中武和 9
懇談会における講演の一部を次に紹介します	35年卒業 斎藤春弥 10
講演会	川喜田良行 11
外の眼「日本」	29年卒業 密山 順 11
〃	〃 〃 12
〃	〃 〃 13
教師として	41年卒業 赤岡 岱 14
未来の技術社会へ	35年卒業 田伏良雄 15
雑感	32年卒業 伊藤 隆 15
研究室紹介 築山研究室	16
卒業して2年目	62年卒業 大西範昭 17
切り札は、遊び心	41年卒業 高橋靖男 18
ウイスコンシン大学に滞在して	助教授 小林一哉 19
〃	〃 〃 20
〃	〃 〃 21
昭和62年度総会・懇親会終る	22
昭和61年度会計報告、監査報告	23
昭和63年度総会・懇親会を開催します	24
編集後記	24



会長あいさつ

川喜田 良 行

同窓会会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。

今年は電気工学科同窓会35周年を迎える事となりました。この間大学も発展向上の一途をたどり、私大の雄となった事は誠に同慶の至りであります。本同窓会も会員6000名を数え、同窓会の運営、活動につきましても一応の成果を得て来ているものと考えます。これ一重に同窓生皆様のご援助、ご協力によるものと感謝しております。

しかしこれだけ規模が大きくなりますと、運営、活動にも一考を要し、財政的にも今後十分検討を加える時期に来ております。

昨年より在学生に対し卒業生による講演会を始めました。今後も継続して行きたいと思っておりますので、卒業生の積極的なご協力を切に願います次第です。

財政再建の一方策として同窓会誌、同窓会会員名簿に企業広告を掲載することいたしました。各企業の

総務部に広告掲載依頼を発送しておりますので、ご協力頂けます様側面援助をお願いします。

今年は同窓会会員名簿を発行すべく準備を進めております。消息不明の方も多く見受けられます。会員の消息をご存知の方は是非事務局にご連絡をお願いいたします。充実した名簿の作成にご協力をお願いいたします。

63年度の同窓会総会、懇親会は大学理工学部において11月5日、土曜日、午後5時～8時迄。開催する事に決定いたしました。

同窓会総会、懇親会の場合は諸先生方、諸先輩、同僚、後輩および在学生の出席を得て行われるものであり、自由に旧交を温め、情報交換、意見交換の出来る良い機会であります。同窓会発展のためにも是非お誘いあわせの上多数ご出席くださるようお待ちしております。

電気工学科同窓会会員の皆様益々健康でご活躍されんことを祈念いたします。

VHSデッキには、VHSムービー。 時代が選んだ、ビデオ公式です。

“撮る”だけのビデオから、“見る”“楽しむ”ビデオムービーへ

VHSコンパクト・ムービーだから、いつものVHSデッキで楽しめる(VHSカセットアダプター使用)

手軽にテープを交換できる 画質、機能、互換性、そして発展性で

VHSデッキには、VHSムービー 時代が選んだビデオ公式です

(多才な高画質)ビクターGR-45



VideoMovie
GR-45 VHS

¥188,000 (本体価格)
(アクセサリーキットVVU-V25KIT)
(別売 ¥25,000)



年寄りの片言

副題 でも俺は年寄りぢゃない 一期生 竹 中 四 朗

初対面の人との用件も済んで四方山話に花が咲いたり、盃を重ねたりして、別れ際に「失礼ですが、何年生まれですか？ 私は5年ですけれど」と尋ねると「でしょうね！私より若いと思った。13年ですよ！」

……

なんで13年生まれが、5年生まれより年上なんだ。算数をやってるんじゃないし、大正生まれでもあるまいに、この人大分酔っているのではないのか？と思うこと度々あり。時には相手が、8年だったり17年だったりした。

或る時など、飲み屋の親父が俺より絶対に年上だと頑張り、飲み代を賭るからと云い出したので止めとけと云って、車の免許証を見せた。その親父は9年生まれであった。

他の人の年齢ばかり気にしているようだけれども、それでも気になるくらい俺の周囲に年寄りが増えてきた。外見ばかりか、精神的にも。

だから、それからは最初から、はっきり「15年です」と言ってやったらうまくいった。然しある時「干支は？」と聞かれ、戸惑いながらも「辰」と答えたら、戦後の話しになり生じたズレを合わせるのに苦労した。

人生50年、と昔から謂われてきたが昭和20年、当時の旧制中学の同級生が特別幹部候補生に志願で行くとき「人生25年だ！」などと威張っていったが、船舶兵になった3人は戦死した。15歳であった。

毎日の空襲警報下における軍需工場での学徒動員中の我々でさえ、日々生命の危険に曝されていたので「25歳迄は生きられるかな？」と、内心想っていたものだ。

それが、とっくに50歳を過ぎもう一寸で60歳になるうとしている。～同期の中には、とっくに過ぎていくひともいる～そして、還暦だ！とかいって赤いチャンチャンコと帽子を着用させられるのだそうなの。いまの俺には、チャンチャラ可笑しい。自分の口から云うのもテレクさいが、そと孫が二人いる。8歳と2歳である。他人は可愛いでしょうと云うけれど、全然可愛くない。俺の顔を見れば、爺とか爺ちゃんと言い、云われた本人は40代の心算りの純真な心を遠慮なく傷つけられ、やれ誕生日だ！入学だ！○○クラブに入ったので用品が欲しい等等……全部爺持ちだから。

西暦2020年には4人のうち1人は65歳以上になる高齢化時代が来ると謂われている。だから、3人で1人の老人を面倒見る計算になる。と、心配している若者がいる。然し、俺の知っている限り俺の周囲には、若しそうなっても若い者達に面倒を見てもらおうなどとおもっている奴はいない。それぞれの年金なり○○で、充分な生活設計（俺は、別）をたてているからだ。

今の俺だって、あと数年で定年退職（63歳）になるが、子供達に金品をせびられることはあっても、子供達に厄介になろうなど考えたこともない。若し最悪の事態到来致さば、その時の為に福祉制度（こんな制度に頼りたくはないが）等があるのではなかろうか。

要するに、周辺の者達が寄ってたかって当人に、その気がなくとも老人だ・爺だと勝手に年寄り扱いにするから、本人もしかたなく暗示にかかり、そうなるのだ。何年たったら何歳以上の者が何人になり、だから若者何人で1人の老人を面倒みなくては、ならないと云っている。冗談じゃない！余計なお世話だ・ほっときな！

毎年、卒業研究の学生として各研究室に10～15人の学生が配属され、約1年間、いや半年間、その配属先で研究し、これも研究とは言えないかもしれないが、とにかく成果を出して卒業する。その結果、何々研究室出身というレッテルが張られ、先生と学生との絆が一生続くことになる。

このようなサイクルが毎年のごとく行われ、研究室の成果も鋸の歯のように一定の水準まで上がり、また新卒研究生で元にもどりと繰り返すばかりである。その水準が保てればよいのだが、世の中は進んでいるのでそうとも限らない。こんな繰り返しの中で、学生の気質の変化も著しい。

はじめに、研究室に配属される学生のタイプについて分類しよう。第一のタイプは、大学卒として十分に認められるタイプで我々の研究の基礎研究に十分役にたつ仕事を残してくれる学生達である。このタイプの学生は、毎年2～3名いれば良いほうで、大半はつぎのタイプである。これは、お坊ちゃんタイプとも言われるもので、自分の指針を自分で決定できないタイプで、卒研テーマが与えられても、それをどの様に解決して行けばよいのか考えずに、何か参考書を教えて下さいとか資料を下さいと言ってくるタイプである。そして、必ず図書館に言っているいろいろ調べたのですがこれは専門的なので分かりませんと言う。このタイプに

は、さらに2つに分類され、毎日研究室に現れ、雑談をし、パソコンゲームを日課とするタイプと時々研究室に現れ、他の人の進捗状況を調べ安心して帰って行くタイプである。

最後のタイプは、卒研のテーマを貰うとほとんど研究室に現れないタイプで、その学生の状況を部屋にいる学生に聞いても分からないというタイプで、一番手がかかり、卒業式の日にもいつのまにか消えてしまう学生達である。第2のタイプでも卒業研究提出時に徹夜の連続で、期待以上のものを残す学生が時にはいるが、この様な学生は、社会に出ても心配ないであろう。

中央大学は、質実剛健をモットーとしているが、みな質実であって、おとなしい学生ばかりというのも問題である。剛健なシステム構成は、研究テーマの一つであるが、学生全体を考えた場合、剛健であって、ユニークな学生を育てることも必要である。他大学の先生方も近ごろの学生気質として憂いているが、やはり、早慶戦に見られるように肩を組み合って、校歌を歌い、青春を謳歌し、そこから自分の人生を学びとることを求めるのは、時代錯誤と言うべきか。

早稲田大学から何周年記念かの寄付が回ってきて、その寄付に躊躇していたとき、私の早大の友人は、お前はまだ寄付をしていないのか、借金をしてでも後輩のために寄付をしると怒られた。卒業生が母校を愛し、

舞台は地球、いま通信の未来を開く

uniden®

〒272 千葉県市川市鬼高4-7-4 TEL0473 (79) 1111 (大代表)
資本金64億5,840万円 従業員510人 中大OB40人(内電気工学科卒15人)

後輩のために一肌脱ぐというその心意気を未だに覚えているが、当時借金に追われてその約束を果たすことはできなかった。こんな心意気を持った学生、いや卒業生は中大にもいるのだろうか。学生にとって、大学は何であるか、いや電気工学科に何のために入ったのか判断に困る学生も多いが、卒業生にとって大学とは、一体何であるのかももう一度聞きたい。その中から改めて教育方針を導き出すのも一つの手かもしれない。

ただおとなしいだけでは、会社の中で突出しない、こんなことを言うようでは、私も年を取ったなあと思う。昔、40才を越えたら研究者では有り得ないと言っていたが、その年はとうの昔に過ぎてしまった。先日ある大手の電気メーカの研究所長さんと話をする機会があったが、所長へのレポートを一度に何部も提出するものがいて、そんな研究者は、忘れられないと言っ

ていた。言い替えれば、それだけ人よりいい仕事を行っているわけであるが、成果を上げるのも大変であろう。単に、大きな会社に入って、定年まで無事に過ごすだけでは、なんとなく空しい思いをするがそれは私だけであろうか。

電気工学科は、ここ二三年で、ばりばりの研究者を何人もお迎えし、その雰囲気も次第に変わりつつある。電気工学科も創世期、1代、2代と過ぎて、卒業生がその中心となって活躍しつつあり、新たな教育・研究指導体制作りにも努力をしている。また、来年から科名を「電気・電子工学科」と改称し、新たな発展を目指している。

最後に、卒業生の暖かいご支援と後輩のためにご配慮をお願いすると同時に、皆様のご活躍をお祈り致します。

実社会の初歩を体験して

社会人といわれるようになって4カ月が過ぎた。今のところおとなしく日々を送っているが、そろそろ会社にも慣れ、入社当時の緊張感も失われ始めている頃である。入社以来研修が続き、仕事らしい仕事はまだしていない。社会人とは言い難く、準社会人とでも言おうか。この準社会人、新入社員だということで先輩諸氏には優しくされ、また多少の失敗なんてなんのその。しかし給料だけは一人前に貰っている。

しかしこの準社会人も社会人と同様に、生活の場は会社である。学生のときよりも少し早く(?)起きて、一定時間会社で働き、居るべき場所に居なければならぬ。このような生活が何年も続くのである。少々型にはまっているようで息苦しい。しかし就業後は自由である。アフター5を何処でどのように過ごそうと各人の自由である。(ちなみに今は残業はない。)

また準社会人も社会人の真似事だけはしている。朝夕の通勤電車・バスの中でおじさん達に混ざって新聞を読んでいる。さらに仕事中(?)、寮に帰ってからとほぼ一日中読んでいる。これだけ読むと新聞の活字全てに目を通すことになる。一人前に社会の動きに目

八 卷 英 明

を向け、何らかの情報を得ようとしているのである。

さて学生のときはあれほどお酒を飲んでいたので、今ではそれほどお酒を飲まなくなった。準社会人になってから健康に気を使うようになった。また週1回スポーツクラブへ行き身体を鍛えている。社会人は身体が資本である。大切にしないといけないと思うようになった。社会人としての自覚が出てきたのであろうか。またどういう心境の変化か、貯金をするようになった。たまに預金通帳を見てにやついている。いったいこのお金はどのように使われるのだろうか。

さてこの準社会人もいずれば立派な(?)社会人にならなければならない。準社会人と社会人の違いはどこにあるのか。社会人はインプットがあれば、それなりのアウトプットが要求される。このアウトプットがいかにあるかが重要であるようだ。今は研修期間中ということもあって、差し当たりアウトプットは要求されていない。この準社会人がどのようなアウトプットをするかは今後のお楽しみである。とりあえず現在は準社会人として、社会の様子を足先で探っているといったところである。(大学院修了。篠田研)

入学直後の自分

小池 真紀子

大学生活、それは私にとって大きな生活環境の変化でもありました。幼稚園から高校まで当たり前のように自宅から通い、家族といっしょに暮らし、家事は一切母親まかせで、頼まれた手伝い以外自分自身で家事らしい家事はほとんどしたことがなかったと言っても過言ではないでしょう。女の子として恥ずかしいことですが本当に18年間そのように暮らしてきたのです。それが一変してこの4月から私は全てを自分でやらなければならないようになったのです。自宅から大学に通えないため一人暮らしを始めたからです。それは想像以上に大変な事でした。改めて自分がいかに両親に甘えていたかということを実感しました。多摩校舎での授業は割と少なく週休も2日ありましたが最初の頃は休みは家事をしているうちに終わってしまうという感じで忙しい毎日でした。自分では気付かないうちに精神的な疲れもずい分たまっていったようで、一時は学校へ行くのも面倒でたまりませんでした。しかし学校へ行くまでは面倒でも着いてしまうと割と楽しくて、友達もすぐにできました。ただ勉強がとても難しく、ついていけるかすごく不安でしたが、それが自分だけではな

いのがわかったので何となくホッとしました。

入学前は、電気工学科は毎年女子が5～6人しかいないと聞いていたので友達ができるか不安でしたが今年は運良く11人もいたので安心しました。みんないい人ばかりです。残念ながら男子は人数が多すぎるので顔と名前が一致する人がまだほんのわずかしきません。その代わりサークルを通して他の学科の人と友達になることができました。私はテニスのサークルに入っています。初心者なのでまだ下手ですが、とても楽しいです。父や高校の時の先輩などから大学に行ったら何かサークルに入るといわれていましたが、入ってみて本当に良かったと思っています。先輩もみんないい人で、勉強の事、試験の事、いろいろなアドバイスをしてくれるので、とても助かっています。そして私の父も又先輩として（父は中央大学電気工学科卒です）、私の良きアドバイザーとなり応援してくれます。

これからもっともっといろんな出会いがあると思いますが、その出会いを大事にし残りの3年半も一生懸命、大切に過ごし、大学生活をより充実させたいと思っています。

入学して思う事

平井 良康

合格者番号表が、電子郵便で届いた時、「どうせだめだろう」と思いながら、「でも、もしかしたら受か

っているかもしれない」という期待に動かされ、自分の受験番号を捜した。千の位、百の位と見て行き、自



生きている飲む
カリナーナ。

Fun To Drive TOYOTA



ラストはS-Limited

ときめきの
新しいCARINA

分の番号に近づくにつれ、逆に自分の番号が無かった時のショックを少しでも小さくしようと、「どうせ無いだろう。」と思う気持ちが自然と強くなっていった。もし自分の番号を見つけたら、きっとうれしくてうれしくてたまらなくて、何か叫ぶのではないかと思っていたが、そんな気持とは違った。何度も何度も、それが本当に自分の番号なんだろうか、と確認してみた。そして、親、親類、先生方などにその事を伝えて初めて、受かった事が現実の事となった様な気がし、少しずつ喜びが込み上げてきた。たぶん、こう感じたのは、受からなかった時の恐怖、つまり今までの苦労がむだになってしまうのではないか、という気持ちが強かったからかもしれない。

私は理工学部だけれども試験は多摩キャンパスで受けた。試験日の2、3日前、下見に行った。多摩動物公園駅で降り、北門のトンネルを抜け、緑の中に真っ白い校舎が建っているのを見た時、その白と緑のコントラストにびっくりした。はっきり言って、駅から北門まで林の中を歩いている時、森の匂いが、風に運ば

れて来た時には、「大変な所へ来てしまった。」と思った。

4月4日、理工学部校舎で入学式があった。体育館が見当たらないので、不思議に思っていたら、5号館の4階にあって驚いた。初めて着たスーツが、何か自分に不釣り合いに感じる一方、自分が大学に入学できた事によって今まで持っていた欲求が満たされた様な気がして、少しうれしかった。入学式開式前、校歌の練習があった。行進曲風の曲で歌いやすかった。しかし歌詞を見ると7行なので「真理の道にはげみつつ」の部分がなければ、6行になって、歌いやすいのと思った。しかし、この行がないと真理の道に励まないで、実りの秋がやってこなくなるので、しかたがないだろう。

前期は多摩キャンパスで授業を授けた。初め、とにかく広く思えた。通学に少し時間がかかるのが大変だった。構内の至る所にサークル勧誘のピラが貼られていた。同じピラが何枚も続けて貼ってあるのもあった。しばらくたつと、それが剥がれて、風が吹くと構内を舞って歩いた。今は多摩キャンパスには行ってないが、壁にまだ貼り付いてたピラは、どうなったのだろうか。

在校生との懇談会

31年卒(副会長) 堀 中 武 和

同窓会の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。今年の夏は梅雨開けがおくれ夏が短かった様ですが御地はいかがでしたでしょうか。

さて同窓会の活動の一つである在校生諸君との懇談について御報告致します。

大学を卒業して勤務地が東京より離れた地であったりすると同窓会に出席したくともなかなか出られない。従って同窓会とも疎遠になりがちである。そこで学生時代より同窓会とのふれ合いを深めようということので数年前より、3、4年生を対称に就職の際役立つように、と実社会で活躍中の先輩諸氏にお願いして「社会(主として会社)が求める人間像は、企業の見かた、就職の心構え」と云った内容を経験を通して話してもらった。これの反響の程は種々でありその場での質問内容から推察するしかないのであるが、2~3年あとの同窓会で「先輩の話ではそうとは思はなかったの

すが研究所にいても対人関係がいかに大切かと思知らされます。」とわざわざ云はれたこともあった。

しかし懇談会をもつ時期がむずかしく、一方で大学の就職部が同じ目的の企画をもっている。我々は休講の時間を利用するとなるとタイミングがむずかしい等の理由により、それならもっと若い2~3年生を対称にということでは現在は先生方が学会等で休講になる時間(これは年間予定が立つ)を利用して、就職ばかりを対称とせず、卒業生にお願いして平常の授業とは異なった角度より専門的な或は実践的な講義をする様に変えた。最近では「特許について」「内視鏡」「TV放送技術」「半導体製造技術」等が行われた。

現在は入学と同時に同窓会に入会している。在学中の学生に少しでも役立つ催しを通して親睦を深め、卒業しても大学と同窓会とのコミュニケーションを大切に、情報化社会と云われる中であって大いに役立た

せてもらいたいと願っています。

皆様の中に、このような機会にぜひ参画してやろうと

思われる方、この企画に対して御意見をぜひ寄せて下さる様お願いして報告に代えます。

懇談会における講演の一部を次に紹介します。(期日、昭和63年6月15日、対称、昼2年生。)

〈講演要旨〉

35年卒 齋 藤 春 弥(元神鋼電機 特許主管次長；弁理士)

題「企業における技術開発と特許の関係について
—最近の知的所有権の動向を踏まえて—

「自社製品をいかに他社特許から守るか?」の対策で、テーマ別調査、ウォッチング(公報発行の都度)、他社権利との比較、問題特許に対する異議申立、実施権の交渉、権利回避の手段の検討がされる。

1.序

これからの技術系の学生は、「特許」を知らないで生きていけない時代となっている。

企業における特許の位置付けも変化し、開発部門との協力のもとに全社的な立場での特許管理をする時代となっている。

新聞等のマスコミでも、知的所有権の話題が多く見られる。

②契約等の法務面に関する業務

共同出願の契約書や共同開発、秘密保持、業務委託・受託等の契約書の検討も特許部門の業務となっている。

2.各企業での状況(企業の立場から見た特許の状況)

3.最近の知的所有権の動向

(1)特許部門の組織上の地位

本社機構に属し、社長または技術担当重役の直轄となっている企業が多い。

(1)知的所有権とは?

知的労作の所産で、財産的価値あるもので、工業所有権(特許・実用新案・意匠・商標)の他、コンピュータプログラム半導体チップ、ノウハウ等も含まれる。

(2)担当業務

①特許・実用新案・意匠・商標に関する業務

(2)知的所有権による保護強化(米国の主張)の問題点

A. 自社対策

「発明考案取り扱い規定」に基づくことが多い。

①保護範囲の不明確さ

例えば、コンピュータプログラムの著作権法による保護は「どこまでが保護範囲か?」専門家も判らない状況にある。

a. 提案の奨励

部門別年間提案目標件数を、発明人口、開発計画、事業計画等の関連のもとに設定し、発明を奨励する。

②国策による米国の対応

・ITCを含む包括貿易改正法案

b. 権利の取得

提案時の発明の評価を行い、効率的、戦略的な出願がされている。また、重要技術については外国出願も積極的になされている。

a. 東芝問題

b. 関税法337条(米国における特許侵害の条件)の強化(「侵害の事実」のみあれば良い。)

c. 権利の活用

自社の権利は加工され、営業資料として活用されている。また、営業マンの特許教育もされている。

③企業での新しい動き

・特許部門、特許政策の強化が着実に進められている。
・国際的な企業では「法務業務」の強化として外国弁護士の採用もされている。 以上

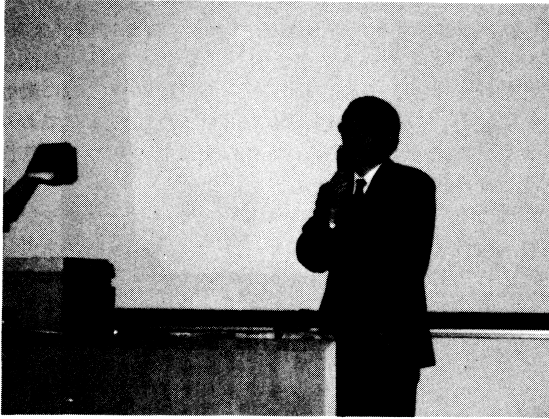
B. 他共対策

現在の生活に切りはなす事の出来ない半導体について、半導体の応用、半導体とは、半導体製品の体系、主な製品の機能、製造方法、およびこれからの半導体

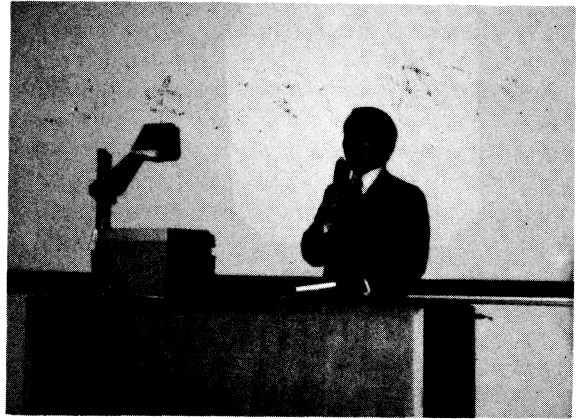
の技術革新の動向について、ビデオを併用し説明、又半導体ビジネスの特徴について講演した。

昭和63年 6月15日

昨年の講演会スナップから



31卒 堀中氏



41卒 荒牧氏

外の眼「日本」

貿易黒字、ここの処、国際経済摩擦の情報が頻々と伝えられ、暗い話題に包まれている反面で、最新先端技術を駆使する主要工業国に变身して日の浅い我が国日本は、社会の変遷の早さに、国民総心神病に罹らざるを得ないばかりの過労を余儀なくされていると思われませんが、一方では、日本製品を徒を組んで破壊し、反日感情を剥き出しにした場景が一部放映されているこの頃です。

そして、このような放映は、国民に世界における日本の立場を認識して貰いたい意図のように採れますが、時既に遅しで、正に自業自得、私は、当然の帰結と考えております。

又、日本は悪くないとか、悪いのは米国だ、など楽観説、悲観説、諸々の書籍が出回っていますが、情報過多とも言える日本の現況を利用して、社会人教育と言う美名の許に、金稼ぎに徹した本も少なくないと見ております。

それでは、このような憂鬱な世情にある我が国日本を、諸外国の人々は、どのように見ているのでしょうか。ごく狭い範囲ですが、私が個人的に直接接触した各国人の言葉の中、二、三を簡単に御紹介してみます。

なお、これらの言葉は、私が「日本をどのように考えているか」と言った質問をして得たのではなく、※印を除き、全て自発的に私に語りかけた方々のもので、極く近年のもです。

※ インド

日本は、政治、行政、経済、教育、道徳、雇用関係

29年卒 密山 順

および生活水準など、あらゆる方面に亘って全面的に申し分ないと言え、死後、神が御加護下さるなら、私は日本に生まれ変わりたい。 May God help me to take rebirth in Japan ,after my death.

註： 昨年、日本特許庁に工業所有権法の研修にみえた方で、帰国後、自国に提出する予定の「素晴らしい国、慎ましい人々、私は日本が好きです」

I like Japan, the nice country and her decent people と題する報告書(英文)の内容を私が要約したもので、当時、世話役をした特許庁職員に送られてきたものです。何が気に入ったか、長文で全てに亘って称賛し、日本にベタ惚れの様子、彼は、帰国前、日本の主要都市や田舎をくまなく視察し、悪い点も見ている筈。

○ インドネシア共和国

世界で真に我が国に貢献してくれるのは、どうみても筆頭が日本、次いで米国で、とくに日本の、敗戦より零から立ち上がり、今や世界一等国になった国民の素晴らしい実力、精神力には敬服しております。又、日本は、くまなく清潔の一言に尽き、香港やシンガポールの人々より格段と品が良い。

熱帯に住むインドネシア人が、雪のように冷淡であるに比べ、寒い国の日本人は、大変親切で、礼儀正しく、温情的に接してくれ、驚いております。

毎年の対インドネシア経済援助、私には直接関係ないけど深謝しております。大いに歓迎しますから、我が国にまた御出掛け下さい。お待ちしております。

(於：新宿ホテル ハヤツト)

註： 御本人が、全てが誠に清潔 ^{アランカー スグリ} Alangkah negeri Jepang semuanya sungguh ^{ジュバン スムアニヤ スンダウ² アルシー スカリ} bersih sekali と真剣な面持で重ねて力説していたのが印象的です。

○ キューバ、ドミニカ、各共和国

広島、長崎、に原爆投下されて僅か40年、瓦れきの廃きよから立ち直り、今や世界トップレベルの工業技術を持つ経済大国となった日本国民の実力は、世界に類が無く、誠に素晴らしい、心から尊敬申し上げます。

貴国の砂糖全消費量の略30%が我が国から輸出され、貴国からは自動車（トラック）を輸入しておりますが、両国間の貿易不均衡が大きく、アルミ原料などが多量ありますので、是非もう少し何か購入して欲しいものです。なお、私共は、ソ連に全く関心ありません。

(於：拙宅)

註： 日本のUCCの要請で筑波科学博にドミニカ、パピリオン政府代理として来日した方で、最後の言葉は、私の「女子バレー国際競技を衛星中継で見える限り、国名がロシア語で書かれているが、国中が親ソ的なのか」の質問に対するもの。

私に気を使ってか、スカーナの「コモ、エスタ赤坂」を楽士の部下5人に演奏させ、日本語とスペイン語とで歌う気くばりよう、強い酒と焼肉に目が無い。

○ 中華人民共和国

日本の工業技術力が大変素晴らしいのに比べ、私共中国は、立ち遅れております。幸い隣国ですので、末永く御指導願いたいと思います。

日本の生活水準は高く、人々は親切ですが、物価が高く、苦しい生活をしております。私が上海にいた時、貴方が言っていた「中国では情報管理がされ、国民に最小限のことしか知らせない、のに対し、日本は情報公開社会であること、その他、詳細な日本国内事情、私に対する日本での生活上の警告、など」当時は半ば

信じられませんでした。来日してみると、全てに嘘がなく、失礼をお詫び致します。(於：新宿、中村屋)

註： 中国語は、表意記号である漢字を使うため、多くの日本人は「気が合う」と錯覚しているようですが大違い。彼等は、歴史的に英国と交流があった性か、物の考え方、言語の資質、に厳格な論理性をもち、可成り英国に近く、話し合ってみると、日本人の思想とは全く違い、むしろ欧米的なので交際には要注意。

○ メキシコ合衆国

私の故郷、アグアカリエンテスに「日本の巨大企業」が進出してきております。日本人家族が当地で生活しておりますが、大変素晴らしい人達ばかりで誠に勤勉そのもの、規律、礼節、共に正しく、感心致しております。素晴らしい国力、効率的業務能力をもつ民族性に心から敬服しております。

貴方も、いつの日か私の故郷に是非いらっしゃいませ、お待ち致しております。 (於：マドリッド)

註： 生物学専攻後、目下、グラフィックデザイン研究生、25歳未婚、美人で慎ましい方なのですが、その後、自国メキシコからくれた私えの手紙の文末に「貴方の友、貴方に多くの思い出をもちつつ、愛の全てをこめて」と書かれており、原文は

Yo muchos recuerdos para ti, con todo mi carino, tu amiga. となっております。これは情熱的で意味深長ですが、スペイン語圏の女性に限らず、英語圏でも、愛を込めて With all my love とか、永久に貴方のものよ Yours always in whole my life とか、信頼できる異性には結構この類いの刺激的表現を用いますが、異文化人のことで、日本語で解しても無意味であり、このような手紙を貰っても、気にしない方が無難と言えましょう。尤も、本気で付き合うのなら別ですが？

さて、以上挙げた外に、在日西独商工会議所における会合の際、本国より来日した同国副会頭も、具体的に例を挙げ、日本人は、礼節、道徳心に優れ、その上精巧な工業製品の製造技術をもつ誠に希にみる立派な

パワーエレクトロニクスで躍進する……

- シリコン整流素子
- 高速整流素子
- スイッチングトランジスタ
- MOS FET
- HIC / IC
- 各種整流装置
- 無停電電源装置
- スイッチング電源
- 感光ドラム
- DCソレノイド
- 電装品
- デジタル制御機器



新電元

新電元工業株式会社
取締役社長 舟久保 光雄

本社 東京都千代田区大手町2-2-1 ☎ 03 (279) 4431(代) 〒100
工場 埼玉県飯能市南町10-13 ☎ 04279(3)3111(代) 〒357
大阪支店・名古屋営業所・浜松営業所・厚木営業所

国、と絶賛していたほどです。

以上、話しの途中で一方的に突発的に言い始めたこれらの言葉の中、彼等に共通する日本感をまとめてみますと、

(イ) 礼節を重んじ、勤勉で道徳心が高く、親近感のもてる国。

(ロ) 絶大な工業力をもつ経済大国。

と言った印象が強いらしく、誰一人として日本批難をする方はいりませんでした。そして、我々日本人にとって、寧ろ心外とも思われる位の「あばたもえくぼ的な高い評価」をしてくれております。

さて、輸出膨張政策は既に破綻し、潜在資源は無く、欧米諸国の任意に選択可能の「自由貿易」にしか対処できず、戦略的に極めて弱い立場にある日本に対し、斯くも高評価を得ているのは何故か、私なりに冷静に考察してみますと、

まず、「礼節」について

これは、日本の古代からの他人に「頭を下げて挨拶する」具体的形式的行動に基因しているものと思われまふ。この行動は、欧米人には「全面降伏」を意味し、昔、宮廷でしか行われていなかった上級者に対する作法で、日本人は左程意識していませんが、彼等には、大変奥床しく鄭重極まりない作法に感ずるからで、後述する勤勉にも関連があると思われまふ。

私は、知らない所で、知らない家や道を尋ねる人が、幾回頭を下げるか、観察したことがあります。驚く勿れ、数回が普通、ひどい時は10回以上、おまけに相手方も亦、それに応じて頭を下げておりますが、欧米人は、するとしても最後に軽く1回、多くは御礼を言うだけに終わっておりますので、誠に奇妙に感ずることでしょう。これは歴史的名残りで、私は、逆の立場で痛感したことがあります、それは現代ロシア人が、謝罪する時や真剣になって事の内容を信じて欲しいと力説する時、手の平を胸に当てる動作をすること、これは、現政権では禁じている帝政時代のロシア正教の作法で、未だに無意識でやっているらしく、される方の私は、その都度、恐縮していたものです。機会がありましたら、テレビなどの劇映画で御注目下さい。要するに、古い習慣からは抜け切れない、と言った処ですね。

次に、「道徳心」について

勿論、欧米人にも当然のことながらあるでしょうが、部分的に日本とは異質のものと思われ、例えば、捨得物は第一発見者の物、と言う常識になっており、これを本人に届ける、などは、馬鹿のすることだ、位に思っていますので、日本人を無心な神のように感ずるのでしょう。更に、「勤勉」について

これは、日本人自身が、元来貧乏な農耕民族であり、したがって遊牧民族とは違って一箇所に定住し、天災などを恐れながら細々と暮らしてきたため、勤勉無くして生計立たず、と言った宿命を帯びており、これが現代に続いていることを知らないため、欧米のように「個人生活を楽しむために働く」なる昔からの固定概念からは容易に理解し難いことと思われまふ。又、定着性を持つことから、近所隣人には鄭重な挨拶をせざるを得なかったものと見ております。

最後に「経済大国」について

我々日本人こそ灯台下暗しで、自国の繁栄振りを自覚していませんが、私は、昭和20年代後半より同30年代にかけて、新聞で時折報道される米国々家予算などを見る度に、自国に比べ、その国力の強大さに驚嘆していたことを思い出します。

現在の日本の国家予算、GNP、在外資産、貿易黒字額などを見る限り、米国ですら危惧感を抱く程ですので、日本人の国民生活の貧しい実体を知らない、とは言え彼等の判断は否定出来ない現状にあると思っております。

そして、私自身、時折、高速道などのサービスエリアで、周縁の日本人を見ると、服装、飲食物の選択および使用乗用車などから、私を除いては、何んと豊かなことか、としみじみ感ずることがあり、又、諸外国でも、日本人ほど多様性に富んだ高価な最新流行の服装および装身具をしているのを見ておりませんので、まして、とくにNIC'S諸国の人々は、強烈な印象を受けると思われまふし、加えて日本人観光客の海外での金使いも可成り影響しているものと見ております。

以上を総合してみますと、諸外国人の日本評価は、習慣、思想などの相違があるにせよ、又、我々日本人は、無意識でしてきたことながら、とくに日本独特の異文化と工業力に感嘆しており、単なるお世辞ではなく、結構いい線を描んでいるように思えてなりません。

最後に、我々日本人が、何んとも思わないでやっている日常の些細なことが、幸いにも他国では見られない奇異な美徳に映り、かくも信用されるとは、大変有り難いこと、思っております。そして、異文化人の我々にとって日常茶飯事に過ぎないことが、彼等には奇異に感じ、高い評価をしている現状を見ますと、恐らく将来も未永くこれら評価が継続すること、は思われますが、仮に、経済が低迷し、その国際的信用に陰りが見えるようになったとしても、依然、彼等の胸中にある我が国日本に対する印象に、終えんを迎えぬよう期待して止まない次第です。

貿易摩擦問題は、日本が米国に集中的に輸出した事と、米国々内の経済運営に問題がある事、とで起きたものと思いますが、我々日本独自の伝統を崩さず、堅実にこの難関を乗り越えようではありませんか。

ところで、最後に、この紙面を拝借して自己紹介を一つ、六本木なる所は、芸能関係の事件で放映される性か、良きにつけ悪きにつけ、今や世界に地名が知られるに至っております。そして小生、その六本木で小さな特許事務所を営んでおります。

昼は、サービス業など情報産業人が主に活躍し、夜には、所謂、新人類の、午前サマともなると芸能人などの溜り場となり、華やかな歓楽街に一変する所と言えましよう。私にとっては何んの感慨もない所ですが、他所から来ると、結構、華麗に見えるのではないのでしょうか。俳優座裏二つ目の角にある六本木ビルに居りますので、近くにお出掛けの節、お暇がありましたら気楽に御立寄り下さい。(29年卒)

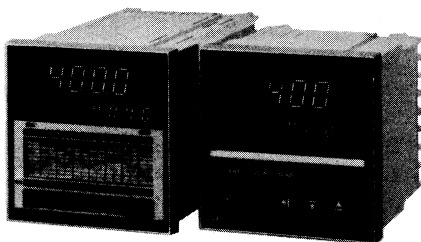
NHKのドラマの影響は凄いもので、四〇〇年の眠りから信玄公を呼び戻し、その生き方が現代に通じるものがあり、まさにブームを巻き起しています。甲斐の生まれで、信玄公に縁を持つ私としては、誇りを感じ、何となく、うさうさした気持ちになっています。霊峰富士山を中心にした山々に囲まれ、冬は肌を刺す厳しい寒さで、夏は猛暑という過酷な自然の洗礼を受ける甲斐の国に、策を勞し、逞しく生き抜く武将が生まれるのは、至極当然のように思われます。

さて、愛すべき中央大学を卒業し、早や二十余年、運命の悪戯で思わず、高等学校の教師として、子供達の数学の相手をしています。以前はA会社で自動定電圧整流装置の設計研究に日夜時を刻んでいましたが、正義感溢れる武田武士の刃を振り降ろし辞表を叩きつけて去り、教育界に飛び込み、現在最も厄介な生活指導に携わっています。今マスコミ等で学への間かけとして、校則のあり方や教員の人間性について議論されていますが、大学を卒業と同時に、一段高い教壇から、子供達に知識を伝達したり、人間教育をすることは、考え方によっては恐ろしいことです。未熟者と未熟者が

接するのですから、おのずと無理があると思います。私も教師生活二十年やっと、ほんの少し“教育”という字の意味がわかったような気がします……。まだまだ考えあぐね、悩むことが多いです。これが最上だという術がなく、結果が出るのに時間が掛るからです。一人の人間の一生のほんのひと擦りの触合いですが、教師はその僅かな時を大切に、情熱を傾け、職務にかけるべきだと思います。社会の病理現象を治すべき、予備軍を造る（大袈裟かも知れませんが）役目を担っているからです。最近髪の毛が早く抜け、さみしいかぎりです。従って会社で整流器の回路設計をしていた頃のことが懐かしく思います。設計通りに結果が出て、性能に満足し、喜びを感じることが出来たからでしょう。しかしここに決定的異いがあります。それは、機器は冷く、子供は温い血の通う、様々な感情を持ったすばらしい生き物であることです。生き甲斐のある仕事に満足しています。同職にある同窓の方々、質実剛健の精神で頑張らしましょう。（二松学舎大学附属高等学校生活指導主任教諭）

RKCは省エネルギーと創エネルギーを 考え、行動する生命体です。

（温度制御関連機器の専門トップメーカー）



理化学工業株式会社

本社	〒146 東京都大田区久が原5-16-6	☎03(751)8111(代)
茨城事業所	〒300-35 茨城県結城郡八千代町佐野	☎0296(48)1121(代)
北関東営業所	〒300-35 茨城県結城郡八千代町佐野	☎0296(48)1121(代)
名古屋営業所	〒451 名古屋市中区西区浅間1-1-20 クラウチビル	☎052(524)6105(代)
大阪営業所	〒533 大阪市東淀川区東中島1-18-5 新大阪丸ビル	☎06(322)8813(代)
広島営業所	〒730 広島市中区国泰寺町1丁目5番1号 ヒロシマ事務ビル	☎082(245)8850(代)

今にして思えば学生時代に考えていた大学とはより良い職に就く為の手段であった。今の学生もそれは同じであろう。しかしこれが大学の質の向上を阻害している所以であると思う。私は幸いにして毎年、理工学部卒業生求人の為、母校を訪問する機会があり、その度に学生の社会に対する取組み方の甘さを憶えてならない。これも学生の就職売り市場のせいであり、企業選択枝が多く、かなり自由に実力以上の職を得ることができるせいかも知れない。

小生の卒業当時はトランジスタが世に出初めた頃である。入社直後トランジスタで電源装置の回路設計を命ぜられたことがあり薄氷を踏む思いだった。当時部品の歩留りが悪く、或は自分の未熟設計の故か逃げ出したい心境であった。そんな時代から20有余年、IC、超LSI…アッと言う間にギガ秒の時代へと発展した。コンピュータが社会経済機構を左右する時代である。そんな時代の変遷を思うとき、母校理工学部には是非期待したいことがあります。それは大学が就職

の手段であることはともかく、単なる技術員の養成所ではなく「未来の技術社会をリードする大学」に位置付けてほしいものと思う。即ち学生は既存の装置機器の利用技術修得のみならず、科学知識資源造りのラボラトリーとして大学のカラー造りに邁進し学生自身が取組んでほしい。その努力こそが本学の質を揚げることに繋ると確信する。かく思う反面、自分の近況となるとだらしく積年の恨みである。今は若手の養成と梶取りばかり。技術畑から抜け出した身軽さで何でもやってみようと意気込んでいるが、仕事の枠から抜け出すことの難しさを痛感し、今は管理職特有の雑務に追われている昨今である。同輩の有能諸氏の活躍ぶりを思うとき、左手に「技術資料と予算資料」右手に「孫子の兵法」と「指揮棒」を持って駆けずり廻っている今日此頃です。終りに同窓生並びに電気工学科諸先生方の御健勝と御発展をお祈り申し上げます。

雑 感

歴史的に、その時代の先端技術が楽器を生み、音楽を生み出す。

大小様々であるが、時代のテクノロジーにより、常に改革され完成して行き、今でも古い楽器が生き、使われている。

さて、昨今の電子オルガン（広く電子楽器）も現代の先端技術の所産であり、その変革ぶりはプロがついて行けない程の技術先行であり、ましてやユーザーは2～3年の型変わりには経済的にもついて行けないのが実情だ。それというのもコンピューター技術の進歩に伴うその応用により、アナログは昔話なのだ。電子楽器の“音色”を作るものはPCMだ。更にメモリー機能により一層面白さを倍加させており、例えば、フロッピー1枚を楽器にセットすれば、演奏者なしで結婚式での音楽位は朝飯前だ。それならCDでも充分と思えるが楽器の場合は音色、テンポともに自由に切替え、且つ音程も狂わないところがCDと異るところだ。

32年卒 伊 藤 隆

いまPCMは音色を作るものとしてその中心を成し、自由に“音”をサンプリングしその“音”を楽しむことができるが、楽器というものを定義的に考えると、その楽器特有の音色というものがあり、その結合がアンサンブルであり音楽の面白さだといえる。

現在の楽器はそれぞれが完成したもものとしてその生命は変わることなく後世にその生命を残していく。電子オルガンも現代の先端技術を反映した楽器には違いないが後世に残していくものは一体何であろうか。真空管から始まりLSIへと移り来たが次に来る新技術へと将来はゆだねられて行く。この楽器は他の楽器と違ってこれ自体が大きな歴史を背負って行きつとところのわからない未来へと歩む。

しかし私はこの楽器を販売しながら200年も昔に完成したピアノも扱う。いかに進んだPCMのピアノ音も、木製響板から出て来るピアノの音にはかなわないのである。

(終)

築山研究室は昨年度できたばかりのまだ未完成の研究室で、実験室内も計算機が雑然と置かれている以外は何もなく、広々と（しかし雑然と）している。

現在の陣容は、助教授兼助手兼秘書としての私の他、篠田及び大類両研究室からの出向がそれぞれ5名（M2：3、M1：1、B：1）及び1名（M2）、並びに学部4年生が16名（昼13、夜3）で、これらは男ばかりの硬派の集団である。4年生の内、昼間部の4名が大学院に進学予定であり、夜間部の1名が進学を希望している。彼の入試がうまくいけば、来年度は生え抜きの院生が5名となり、我が研究室に創世期の「日の出の勢い」が出るかもしれないので、非常に楽しみにしている。

このような勢いを付けるため、4年生を週2回の輪講で徹底的にシゴいている。1つはCMOS LSI設計を勉強する為に“Digit-al CMOS Circuit Design”を、もう1つは効率的なアルゴリズム設計を勉強する為に“データ構造とアルゴリズム”を読んでいる。回を重ねるに従って、学生の予習の要領も良くなり、他人に分からせる説明もできるようになってきており、私の「大阪弁による厳しい質問の突っ込み（学生談）」にも耐えるようになってきた。なかなか頼もしいもかぎりである。

大学院生には今のところこのような本を読む輪講をしていないが、それぞれの研究テーマに応じた論文を読ませているので、後期にはその紹介の輪講をやらせようかと考えているところである。

とまあ、勢い込んで書いてはきたが、学生が同じように感じて一花咲かそうと考えているかというところでもなく、以外と冷めていたりするものだから、意志の疎通というのはつくづく難しいものだと思う。しか

し、そんなことをいちいち気にしてはいるこの家業はやってられないので、ここは勝手に走ることにしている。

研究のテーマは、主としてVLSI設計（特にレイアウト設計）の自動化に付随して生じる諸問題並びに組合せ問題に対する効率的なアルゴリズム（直列型あるいは並列型）の設計に関する研究を行っているが、文書処理技術の研究などもやろうとしている。現在のテーマを幾つか拾い出してみると、「VLSIフロアプランの手法」、「アナログLSIのレイアウト手法」、「レイアウト圧縮における制約矛盾の検出法」、「矩形双対グラフの性質」、「2次元メモリによるウィンド管理」、「数式処理技術」などが挙げられる。どちらかと言うと理論的興味に駆られて研究してしまいがちなので、実学に即した今すぐ役に立つこともやりたいと思い、現実社会で困っている問題にも取り組んでいる。

このような研究を遂行する施設・備品として、電気工学科のご好意により、SUN 3 / 110ワークステーション1台、Sequent B8密結合型マルチマイクロコンピュータ1台（CPU 4個）、並びにこれらの端末機器ともなっているPC 9801 VX 21等のパソコン（7台、グラフィックディスプレイ端末1台）がある。SUN 3及びB8は、電気工学科LANによって、篠田、古屋両研究室のSUN 3 / 260並びに木下研究室のAPOLLOと接続されており、これらの研究室からも使用できる。残念ながら、我々のSUN 3はディスク容量が小さいため、OSの核の部分しか自分のところに持たず、篠田研のSUN 3にぶら下がって動いている。従って、篠田研のが故障すると我々のSUN 3も使えなくなるのであるが、どういうわけか、篠田研のSUN 3はよく故障する。「親亀転けたら」

というところである。なんとか一本立ちしたいと考える今日この頃である。

研究室の生活としては、私自身が勉強嫌いの遊び好きであるので、コンパやテニス・スキーなどをどんどんやろうと言っている。その一環として、新入生歓迎コンパに続き、7月には阪大・関大との合同合宿に参加し、9月初めには篠田研との合同合宿を行う。忘年会の後は、3月にスキーに行ければというのが希望である。「人間、企画力が大事や」などと少々下品な大阪弁で遊びの企画やコンパでの芸などを強いている。

私ばかりがこの紙面を使うのはどうかと思うので、以下に学生の意見を列挙する。

「ゼミがあるので研究室に人が集まることは多いが、無駄話に時間を費やし、皆研究は進んでいないように

ある。」

「画像データや公開のソフトウェアなどを持つてくるものがある。」

「誰が買ってくるのか常に漫画がある。」

「築山先生はふだんは優しい先生であるが、怒ると大阪弁のためかひじょうに恐ろしい。」

「ゼミなど勉強しなければならないことも多いが、かなり自由に遊べる研究室である。」

「他の研究室から遊びに来るものも多い。」

「築山先生に見つからないようにゲームなどで遊ぶのが一つの楽しみである。」(何考えとんじゃ！：築山)



卒業して2年目

中大を卒業しトッパン・ムーアという会社に入ってもう1年と半年になろうとしている。思えばそれまでの長かった無責任時代に別れを告げ、社会人として1日のうち通勤・残業等を合わせると約12時間余りを会社に拘束されるという生活環境へ急転換が為されたわけであるが、人間案外適応能力は強いもので、そろそろこの環境に慣れて来た自分に気が付き驚いている。

私がこの会社に入ることになったのは、最終的には当時の就職担当教授の推めによるものであったが、学内選考とのからみもあって就職活動が大幅に遅れていた私にとって、入念に会社内容を調べている暇がなくほとんどインスピレーションで決めたといって良いであろう。今思うと危険な賭けをしていたことになるが、現在ではこのインスピレーションはけっこう当たったかなと思いはじめている。というのもこのトッパン・ムーアという会社、なりは年間売上1000億円を越え、従業員数2500名と中小とは言えない企業ではあるが、

62年卒 大西範昭

まだまだ発展の可能性を秘めてるし、なにより自分達の可能性をも発揮できる環境があると思えるからである。平均年齢が30才ちょっとと若いせいもあるが、若い連中が何でも言える環境にあるのがいい。

私は当初の希望通り都内の中央研究所に配属となり、親会社のMOOREに関連する世界各地の印刷工場に輸出しているビジネスフォーム印刷機の電気関係を担当する業務に携わっている。

こうして実際の業務に就いてみて自分がいかに電気工学を真に理解していないかを痛感させられる。その度に図書室へ行って関係する本を捜し回ることになる。今にしてあの講義やあの実験がいかに重要であったか解るのだが後の祭りである。

私の当面の目標としては、なるべく早いうちに技術を習得し、英語を勉強して海外でその力を生かせるようになりたい。(中央研究所勤務)

私が、電気工学の知識をおもちゃに生かそうと考えたのは、昭和41年の春であった。同じ土俵に上がる競争が少ないこと、将来自分の足跡を残す上で、組み易いと踏んだからである。しかし、ドラスティックに変化する世の中で、私の学んだエレクトロニクスの学問が、玩具ビジネスに有効に活用されたかと言うとそれはまったくノーであった。電気屋さんの開発したモノを、旨く利用させて貰っていると云った方が正しい。より汎用性の高い電子部品が開発生産され、しかもコストがこなれて初めてテーブルにのる。即ち、所詮は自らが零発進の開発を電気理論を駆使して成し得ていなかった。私は、玩具の開発屋として就職したが、ご多分に洩れず、入社間も無く主流であるメカニズム重視の諸先輩と、ソフト展開即ち目に見えないモノを押し出すタイプのズレでトラバユすべく、富坂へ卒業証明書を取りに行った事もあった。それがなんと22年も操を捧げてしまった。産業構造と言え、決して地に足がついている業種では無く、常に社会の変化に揺さぶられている。しかもアメリカの玩具産業の影響を受け、その上、出生数・原材料・円高ドル安等で事業そのものが乱高下してしまう。勿論、見掛けが派手なものと、絵に成りやすい為か、クリスマスが近く頃に成ると、マスコミが玩具業界に不況が無いような華やかなとりあげをする。実際には、熾烈な生き残りゲームを自らプレイしているのが現状である。確かに近年上場する玩具屋も出てきたが、しかし毎年ヒットを飛ばし続ける事は、至難の技で有る。私も未だに売れ続けているヒット商品を生みはしたが、玩具はすこしく不倫である方がより面白い。従って個の持ち味が益々重要に成って来る。即ち、作家ごころが必要に

成っている。雑学を武器にどっぷり情緒産業にのめり込んでしまった私は、いつの間にか、子供そのものを余り考えない、企業玩具に興味を失い始めていた。その為実用価値のあるモノに“遊びごころ”を加味した、ヤング思考の企画・開発・生産そして販売の事業部を担当した。ファッション雑貨、ホビー、ファンシー、ギフト等の業界では、一目置かれる仕事が出来た。また、ディズニーやスヌーピーなどと言った、キャラクターマーチャンダイジングを得意としていた。だが、今年2月に日本の玩具メーカーでNo.1の総合力を持つトミーグループを退任し、そして4月末に“株式会社ぶらんど”を設立した。そして今は、色々な業種に“遊びのこころ”を組み込んだ隙間商品の企画、開発、生産のコーディネイトや、隙間ビジネスのクリエイションなどを主力に動かし始めている。体力、気力そしてアイデア力の褪せぬ内に、人より先に定年を迎えたと思目一杯働いている。

力だけでは無く、他力も絡む世の中で先ずは“心”が健康に成ったと思える。そのうえ金が残ったら申し分ないと思うが……毎月香港へジョイントベンチャーで出掛ける。生産基地を移し、仕入れソースを求めかつてアメリカがしたように、ジプシーを始めている日本。その中で益々日本の玩具は、厳しい環境に立たされている。

自分達こそがもっと心を遊ばせなければ、子供の“こころ”を捕らえる事は難しい。

遊びをせんと生まれしを……

大類教授が古典を読むように何度も忠告して下さった事を今も忘れずにいる。

(株式会社ぶらんど 代表)

ウィスコンシン大学に滞在して

助教授 小林 一 哉

筆者は現在、中央大学昭和62年度在外研究員として、昨年八月末より米国ウィスコンシン大学マジソン校工学部電気及び計算機工学科に滞在している。在外研究期間は9月中旬までであり、帰国まで残す所、約2週間となった。本小文においてはウィスコンシン大学マジソン校のあるマジソン市、大学キャンパスの様子、学生の気質などについて紹介したいと思う。

ウィスコンシン州は、面積143,754平方キロメートルで全米26番目の広さを持ち、イリノイ、ミシガン、アイオワ、ミネソタ各州に隣接しており、人口は約470万である。筆者が滞在中のマジソン市はウィスコンシン州の州都であり、州の南方、イリノイ州との州境に近く、又、ミシガン湖の西、約100キロメートルの所に位置する人口約17万の都市である。マジソン市には

四つの湖、メンドータ、モノナ、ウィングラ、ウォーベサがあるが、うち、メンドータ湖は長さ約13キロメートルで、この四つの湖の中で最大の面積をもっている。ウィスコンシン大学マジソン校は1849年に20名の学生と共に創立され、今や面積40平方キロメートルのキャンパスをもつマンモス大学となった。ウィスコンシン大学はマジソン校以外に12ヶ所にキャンパスをもつが、中でも、マジソン校が州内で最大の規模を誇っている。又、このマジソン校は1910年以來の調査で、評価の点において常に全米のトップ10に入る名門校である。なお、大学院の評価は特に高く、最近の調査では常に全米6位以内に位置しているようである。

ウィスコンシン大学マジソン校は12学部から成っており、うち、工学部キャンパスの中で最も規模の大き

情報 は 21 世紀 の 酸素 です。



世界は通信とコンピュータ技術を駆使した“高度情報社会”へ急速に向っています。

JRC日本無線は、我国で最も古い歴史を持ち、通信と制御、そして情報処理の三つの技術を基本にした“システムエレクトロニクス”の総合メーカーとして成長を続けています。

コミュニケーションで未来を創る 日本無線

JRC 日本無線

人事部へのお問い合わせは下記へ

●三鷹製作所 / 三鷹市下連雀5丁目1番1号
電話(0422)45-9166(ダイヤルイン)

い学部の一つである。1985年度の調査では学生数42,567名、教員数5,166名であった。又、工学部は9学科と4研究所からなっており、筆者が席をおいた電気及び計算機工学科には名誉教授、他学科との兼任教員を含め、計51名の教員が所属している。本学科のカバーする分野は大別して生体工学、通信理論と応用、計算機工学、制御システム、電子音響、電磁界と波動伝搬システム、電気機械とパワーエレクトロニクス、電子回路設計と集積回路、電子デバイスとマイクロエレクトロニクス、フォトニクス、プラズマ、パワーシステムの多岐に渡っており、各教員はそれぞれ該当するグループに属し、研究・教育に当たっている。筆者の研究分野は電磁波論であるため、上記12分野のうち、電磁界と波動伝搬システムのグループに属し、この一年間、研究を進めてきた。

さて、筆者は昨年8月末にマジソンに到着し、すぐにウィスコンシン大学側での受入れ責任者である教授からの強い要望により、昨年の秋学期（9月2日～12月23日、日本の大学の前期に相当）には学部2年生の「電磁気学」の講義を担当し、教育に従事する機会を得たので、ここで少々ウィスコンシン大学の授業形式を述べてみたいと思う。こちらは日本の大半の大学と異なり、一コマ50分の体系をとっている。筆者の担当した電磁気学は月、水、金の週3回であり、電気及び計算機工学科2年生の計約100名の学生を2クラスに分け、筆者の受入れ責任者の教授と共同で講義をしたが、約400頁のテキストをカリキュラムに従い、秋学期の4ヶ月間で終わらせなければならず、かなりハードスケジュールであった。本学電気工学科と比較し、授業の密度が濃いように思われた。秋学期の講義を終えて感じたことは、こちらの学生は極めて勉強熱心であるという点である。授業の出席率は良く、毎回80%

前後であった。又、こちらの教員の殆どは、授業と無関係にオフィス・アワーと呼ばれる、学生からの質問に対応する時間を週1～2回程度設けており、筆者も週2回、1時間ずつこのオフィス・アワーを設けたが、何名もの学生がつかけて来て、熱心に質問をするという状態が続いた。又、授業とは別に週1回、10題程度の問題を宿題として与え、5日間以内にレポートを提出させるというシステムをとった。これは、本学電気工学科の「電磁気演習」に対応するものである。電気及び計算機工学科では、電磁気学ばかりでなく殆どどの科目に週1回のレポートを取り入れており、演習を兼ねているようである。又、授業の進度も極めて速く、一コマ50分の授業でテキスト約10頁を毎回消化してゆくというペースであり、筆者もこの進度の速さには驚かされた。一方では学生も真剣に勉強するという態度が見られた。筆者にとって、米国で講義をするのは初めてであったが、これにより、米国の教員の講義の仕方、学生の気質等を知ることができ、貴重な体験であったと思っている。帰国後はこの経験を生かし、積極的な姿勢で教育に当たりたいと考えている。

マジソンに1年間滞在して感じたのは、こちらは典型的な内陸性の気候であるという点である。冬の寒さは特に厳しく、今年初めには、筆者がこれまで体験したことのない摂氏マイナス25度前後の日が何日も続いた。この頃はまだ、筆者は車の免許をもっていなかったため、通勤・外出等にはバスを利用しなければならず、閉口した。このような厳しい寒さをご存じの方は少ないと思われるが、これは外を数分歩いただけで、体が凍りつくような寒さである。そのためであろうか、外を歩くたびに、手編みの覆面を頭からかぶって防寒に当てている人をよく見かけたものである。一方では夏の暑さも厳しく、5月中旬頃から真夏日が始まり、6

月末からこれまでに、日中の最高気温が摂氏35度～38度という猛暑が既に2週間以上もあった。又、湿度も東京の真夏並みに高く、熱帯夜が続いた。今年の夏は、全米各地で猛暑が続いているようである。

冒頭に述べたように、筆者の在外研究期間も9月中

旬の帰国まで僅かとなったが、残り少ない期間を有意義に過ごして帰路につきたいと思いつつ、筆を置かせて頂く。

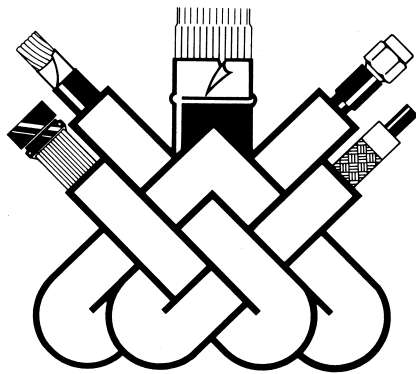
昭和63年8月28日

米国 Wisconsin 州 マジソン市にて



JUNKOSHA

先端仕様を結ぶキーライン



潤工社の電線・ケーブルは、「鍵」となる技術力から誕生し、形態や機能別によって分類された、多くの仲間を持っています。それらは絶え間なく進化し続け、各産業分野を強く結びつけるキーラインを構成しています。また、仲間のひとつひとつは、コンピュー

タ・通信機器・航空宇宙機器などをはじめとする、各種先端機器の内部配線用やインターフェース用として、高性能化・小型軽量化を決定する重要なキーラインでもあるわけです。

 潤工社

東京都世田谷区宮坂2-25-25 〒156 ☎03 429 2171

中央大学応援歌

中央大学学友会選定
古関 祐 而 作曲

一、憧れ高く空ひろく

理想の光あやなせる

あ、中央の若き日に

伝統誇る白門の

闘い挑むはた仰げ

力、力、中央 中央

二、情熱と力の若人が

精鋭こぞりふるいたつ

あ、中央の若き日に

雄叫ぶ血汐 紅は

闘魂たぎる火と燃える

力、力、中央 中央

三、我等が誇り覇者の歌

さんたり栄光我が生命

あ、中央の若き日に

今ぞ座らん覇者の座に

いざ勝どきを揚げんかな

力、力、中央 中央



昭和62年度

総会・懇親会終る

昭和62年度総会・懇親会は、昭和62年11月7日(土)東京丸ノ内ホテル松の間において開催され、退任された梅原名誉教授のご出席をいただき、にぎやかに終了した。なお、受付進行など36年卒の王賀氏には大変お世話になった。



会長から梅原先生に記念品を贈る。



梅原先生と(37卒)藤田氏

昭和61年度 会計報告

昭和61年度 会計報告

収入の部	
前年度よりの繰越金	4,000,911
61年度総会費	372,000
預貯金利息	109,658
名簿売上げ代金	0
終身会費	1,510,000
寄附金	0
広告料	0
計	5,992,569

支出の部

61年度総会費	480,360
通信及び印刷費	855,070
アルバイト代	55,452
事務・運営費	65,780
名簿関係 印刷費	131,000
通信費	0
アルバイト代	0
事務費	0
慶弔費	17,360
記念事業費	0
次年度繰越金	4,387,547

計 5,992,569

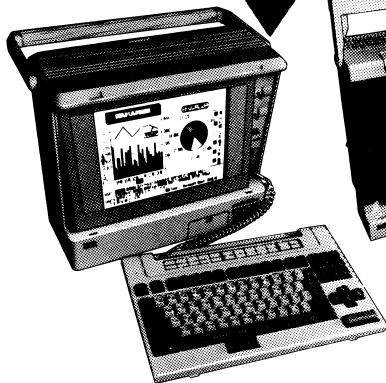
監査報告

出納帳、預貯金等監査した結果、間違いのないことを確認した。

服部 修一 印
遠藤 正雄 印

富士通

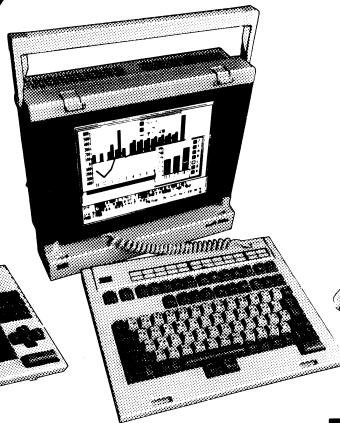
新登場



FM R-30HX

高速・大容量のトランスポートパソコン
HDタイプ ¥488,000 (7月提供予定)

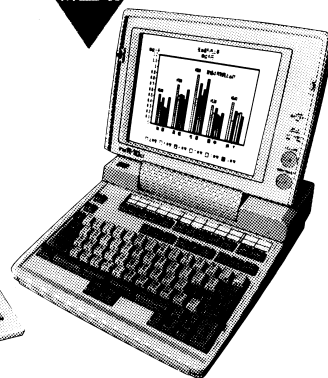
新登場



FM R-30BX

トランスポートパブルの高性能パソコン
FDタイプ ¥268,000

新登場



FM R-10LT

機動力抜群のラップトップパソコン
LT1 ¥198,000 LT2 ¥228,000 LT3 ¥248,000
(LT2は10月、LT1/3は11月提供予定)

*価格は全て本体価格・キーボード付。

夢をかたちに
信頼と創造の富士通

自分に合わせる機動力。
シリーズ充実。ネットワークと機能性で行動派の要求に応える。
富士通のトランスポートパソコン。これが回答です。

選べるハード。使えるソフト。

富士通のパソコン FM R シリーズ

富士通株式会社 ● FM販売推進部 〒100 東京都千代田区丸の内1-6-1 (03) 216-3211 (代技術的お問い合わせは FMインフォメーションサービス (03) 646-0816 (お問い合わせ時間) 10:00~18:00月~土(祝日を除く))
富士通プラザ(マイコンスカイラフ宮丸) ● 丸の内 (03) 215-0321 ● 秋葉原 (03) 251-1448 ● 札幌 (011) 222-5466 ● 仙台 (022) 266-8711 ● 名古屋 (052) 251-7231 ● 大阪 (06) 344-7648 ● 広島 (082) 211-1717 ● 福岡 (092) 713-0135

昭和63年度 電気工学科同窓会 総会・懇親会を開催します

期日，昭和63年11月5日(土)
午後5時30分～8時30分

会場，中央大学理工学部5号館 地下1階
(文京区春日1-13-27)

会費，卒業生	5,000円
同伴者(家族)	3,000円
大学生	2,000円

出欠席，同封のハガキ(受取人払い)で
来る11月1日局に必着するようご投
函下さいますようお願い申し上げ
ます。

会長 川喜田 良 行

編集後記

今年も就職船に乗りおくれた学生は一人もいない。こんなに早くから決まっていものだろうか。企業のみなさん、卒業生のみなさん!!簡単にお迎えしないで下さい。と誰か申しております。

発行 中央大学電気工学科同窓会
〒112 東京都文京区春日1-13-27
(電) 03-817-1862
編集人 市川友之
印刷所 エース工芸株式会社
〒354 埼玉県富士見市鶴馬2589
電話 0492(51)1305